

令和7年度 江戸川区立鹿骨松本小学校 特別活動全体計画

校長 渡邊 浩輔

学校の教育目標	人権尊重の精神に則り、自ら考え社会の一員としての自覚を高め、心身ともに健康で人間性豊かな児童の育成を目指し、次の教育目標を設定する。 ○よく考える子 ○思いやりのある子 ○たくましい子
特別活動の目標	望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。
目指す児童像	○活動の目標を達成するための方法や手段などを全員で考え、話し合い、協力して実践できる子 ○自分の役割で責任を果たすとともに、活動の目標について振り返り、生かすことができる子 ○集団の中で、互いのよさを認め合うことができ、自由な意見交換ができる子
特別活動の重点目標	集団の一員としての自覚をもって学級活動や児童会活動に参加し、話し合いのルールを身に付け、自他の良さに気付きながら、自主的、実践的に取り組むことで自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

	学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事
目標	学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度や健全な生活態度を育てる。	児童会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。	クラブ活動を通して、望ましい人間関係を形成し、個性の伸長を図り、集団の一員として参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる。	学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
指導の方針	(1) 楽しく豊かな学級生活づくりのために、互いに尊重しよさを認め合えるような人間関係を育むために、低学年では仲良く助け合おうとする人間関係、中学年では協力し合おうとする人間関係、高学年では信頼し支え合おうとする人間関係の育成を重視する。 (2) 自己のよさや可能性を生かして、楽しく豊かな「学級や学校の生活づくり」に参画できるような自発的、自治的な態度を育成する。 (3) 自己の役割を自覚し社会の一員として役割を果たすため、主体的に行動する態度を育成する。	(1) 代表委員会 学校生活の充実と向上を図るために学校生活に関する諸問題について話し合い、その解決を目指した活動を行う。 (2) 委員会活動 高学年の児童が、学校生活を共に楽しく豊かにするための活動を分担して行う。 (3) 児童集会 学年や学級が、異なる児童と共に楽しく触れ合い、交流を図ることを目指す。	(1) 児童の自発的、自治的な活動が効果的に展開されるようにする。 (2) 内容相互の関連を図るように工夫する。	(1) 儀式的行事：学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清らかな気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなる活動を行う。 (2) 文化的行事：平素の学習の成果を発表し、その意欲の向上を一層高めたり文化や芸術に親しんだりする活動を行う。 (3) 健康安全・体育的行事：心身の健全な発達や健康の保持増進などについての関心を高め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資する活動を行う。 (4) 遠足・集団宿泊的行事：自然の中での集団宿泊活動など平素と異なる生活環境において、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、人間関係など集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができる活動を行う。 (5) 勤労生産・奉仕的行事：勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られる活動を行う。
主な指導内容	(1) 学級や学校の生活づくり ア学級や学校における生活上の諸問題の解決 イ学級内の組織づくりや仕事の分担処理 ウ学校における多様な集団の生活の向上 話し合い、係・当番、集会等 (2) 日常生活や学習への適応及び健康安全 ア基本手的な生活習慣の形成 イよりよい人間関係の形成 ウ心身ともに健康で安全な生活態度の形成 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 ア現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 イ社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解 ウ主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用	学校の全児童をもって組織する児童会において、学校生活の充実と向上を図る活動を行う。 ○児童会の計画や運営 (代表委員会、各種委員会) ○異年齢集団による交流 (児童集会、なかよし班、全校遠足) ○学校行事への協力 (代表委員会、各種委員会) ○ヤギの世話や小屋の清掃活動 (なかよし班、委員会活動)	学年や学級の所属を離れ、第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、異年齢集団活動の交流を深め、共通の興味・関心を追求する活動を行う。 ○クラブの計画や運営 ○クラブを楽しむ活動 ○クラブの成果の発表	○儀式的行事 (入学式、卒業式、始業式、終業式、修了式、離任式、開校式典) ○学芸的行事 (音楽会、書き初め大会) ○健康安全・体育的行事 (避難訓練、安全指導、集団下校、定期健康診断) (運動会、スケート教室、区体育大会) ○遠足・集団宿泊的行事 (ウインタースクール、日光移動教室)

他の教育活動との関連	各教科・読書科	各教科等の指導で身に付けた言葉を的確に理解・表現する能力、互いの立場や考えを尊重し伝え合う能力などを活用したり、これらの能力を向上させたりする。特に、学級会の活動は年間を通して実施することを目標にし、話し合い活動の仕方等については、国語科の学習内容との関連を図って指導する。 「学校図書館の利用」や「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」、「食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」などは、国語科や体育科、家庭科の学習とも関連を図って指導する。	各教科で身に付けた能力などを、児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりのためによりよく活用できるようにしたり、児童会活動で身に付けた自主的、実践的な態度などを各教科等の自発的な学習に生かしたりできるようにする。縦割り班活動(なかよし班)を通して、各学年の発達段階をイメージとして捉え、国語科や生活科・社会科などの手紙を書く活動の助けとする。特に、6年生から5年生への引き継ぎなどでは、体験を重視させる。	各教科の学習を中心として行われる様々な教育活動の中で、一人一人の児童の自主的な活動が促され、それぞれの児童が自己の特性を生かして学級や学校の生活を送ることができるようになる。クラブ活動を通して身に付けた様々な技能や態度が、他の教育活動においても生かされるようになる。	(1)儀式的行事:学校や地域の事象について学習したことを基に、学校や地域の一員としての自覚を高めるようにする。 (2)文化的行事:国語や音楽、図画工作などの学習の成果を発表し交流し合うことで、それらの学習の向上及び意欲を一層高める。 (3)健康安全・体育的行事:体育の学習成果を発表し、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度を育成する。 (4)遠足・集団宿泊的行事:社会や理科、生活などの学習を生かして、自然や文化などに親しみ、集団生活の在り方や公衆道徳等についての望ましい体験を積む。 (5)勤労生産・奉仕的行事:生活、社会などの学習を生かして、勤労の尊さや生産の喜びを体得させ、社会奉仕の精神を養う体験を行う。
	特別の教科 道徳	低学年では、自分がやるべき仕事をしっかりと行うこと、友達と仲良くし助け合うことを、中学年では、友達と互いに理解し信頼し助け合うこと、みんなで協力し合って楽しい学級をつくることを、高学年では、互いに信頼し、学び合い、協力し助け合うこと、身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。	下学年は、わがままをしないで自分でできることは自分でやること、よく考えて行動し、節度のある生活をするを、上学年では、誰に対しても思いやりの心もち、相手の立場に立って親切にすること、身近な集団にすすんで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。	4年生は、自分でやろうと決めたことは粘り強くやり遂げること、尊敬と感謝の気持ちをもって接することを、5・6年生は、すすんで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくすること、だれに対しても思いやりの心もち、相手の立場に立って親切にすることを重視する。	儀式的行事では、礼儀正しく真心をもって行動すること、みんなで協力し合いより良い校風をつくること、郷土や国を愛する心をもつことを重視する。文化的行事では、美しいものや気高いものに感動する心をもつことを重視する。健康安全・体育的行事では、健康や安全に気を付け、生命あるものを大切にすることを重視する。遠足・集団宿泊的行事では、自然環境を大切にすることを重視する。勤労生産・奉仕的行事では、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことを重視する。
	外国語活動	外国語活動で身に付けたコミュニケーションへの積極的な態度を、諸活動に生かせるようにする。	外国語活動で学んだ、場面や働きに配慮した体験的なコミュニケーション活動の成果を生かすようにする。アルファベットや英単語などを用いたクイズなどを考える。	「相手との関係を円滑にする」、「事実を伝える」、「考えや意図を伝える」、「相手の行動を促す」などの学習体験を生かす。	外国語活動を通して身に付けた、国語や我が国の文化に対する理解を深め、世界の人々と相互の立場を尊重、協調しながら交流しようとする態度を諸行事に生かす。
	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間で身に付けた自分とのかかわりに基づく課題発見力、主体的な学習態度などを、学級の諸問題を解決する実践活動に生かせるようにする。	総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスや友達同士の学び合いなどを、学校の諸問題の解決や、児童集会の企画・運営などに生かせるようにする。	総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスにおける創意工夫を、クラブ活動における多様な展開に生かせるようにする。	総合的な学習の時間における環境や自然を課題とした問題の解決や探究活動として行われる体験活動と、遠足・集団宿泊的行事との関連や総合的な学習の時間に行われる社会とのかかわりを考える学習活動としての体験活動を重視する。勤労の尊さや生産の喜びを体得し社会奉仕の精神を養う体験を行う勤労生産・奉仕的行事との関連を重視する。
家庭や地域との連携	楽しく豊かな学級や学校の生活づくりや健全な生活態度を育成する活動を効果的に展開するために、個々の家庭の状況に配慮し、家庭での指導との連携を図ったり、地域の人材を活用したりする。また、基本的な生活習慣の形成、心身ともに健康で安全な生活態度の形成、食育の観点を踏まえた望ましい食習慣の形成などの事項は、家庭での指導と連携を図り効果的な指導を行っていく。 花や野菜の栽培を通して、自然への関心をもたせる。地域社会一員としての自覚や連帯感を培う。(花の寄せ植え、鹿骨街道の花植えなど) 開校に伴う連携活動に取り組む。	児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりの活動を効果的に展開するために、家庭や地域の協力を得たり、社会教育施設等を活用したりする。また、学校行事に協力する児童会活動として、運動会を行う際に敬老席を用意して地域の高齢者を招待するなどして、地域の福祉に携わる活動や仕事をしている人々の協力を得た活動などを行う。	児童の興味・関心を基本としながら、地域の教育力を活用し、地域の実態や特性を考慮した活動を促す。	文化的行事や健康安全・体育的行事等において、地域社会の人々が参観しやすいうように期日などを考慮したり、地域の伝統文化に触れる活動や地域の行事と学校行事との関連を図って実施したりして、学校の教育について積極的に地域の人々の理解を得る。また、勤労生産・奉仕的行事などでは、保護者や地域の関係団体の協力を得るなど地域の人々との連携を図ったり、家庭への積極的な参加を呼び掛けたりする。 開校に伴う連携活動に取り組む。	